

日本経済新聞

4月17日

金曜日

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 ☎(03)3270-0251
 〒100-0066 東京都千代田区大手町1-3-7
 大阪本社 ☎(06)7639-7111
 名古屋支社 ☎(052)243-3311
 西部支社 ☎(092)473-3300
 札幌支社 ☎(011)281-3211

Tech & Unique

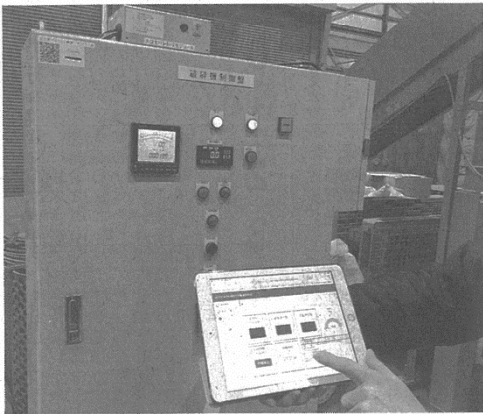
リサイクル処理機械

リサイクル機械メーカーのエムダイヤ(富山県滑川市)が設備販売にとどまらないビジネスモデルの構築を急いでいる。あらゆるモノがネットにつながる「IoT」を活用し、納入先に修理や部品交換を促す。リサイクル素材の仲介販売も始めた。周辺分野に手を広げて収益力を高める。

エムダイヤのリサイクル機械は光ファイバーやタイヤのように、金属や樹脂といった複数の素材を使う製品を1台で分離

北陸

IoTで監視 保守早く



タブレットなどを使い、遠方からリサイクル機械を監視できる

エムダイヤ

・破碎できる。タイヤのくつってきた。安定した受場合、まずは大まかに切断して機械に投入する。回転する刃と固定した刃を組み合わせた独自の機構がタイヤを薄くそぎ落とすように削る。ゴムとワイヤに分かれるため、それぞれをリサイクルに回せる。

10年ほど前に発売し、家電や自動車のリサイクルに広く使われてきた。商社などを通さず、大手電機・自動車メーカーの系列会社と直接取引し、それぞれに合う機械をつ

・破碎できる。タイヤのくつってきた。安定した受場合、まずは大まかに切断して機械に投入する。回転する刃と固定した刃を組み合わせた独自の機構がタイヤを薄くそぎ落とすように削る。ゴムとワイヤに分かれるため、それぞれをリサイクルに回せる。

10年ほど前に発売し、家電や自動車のリサイクルに広く使われてきた。商社などを通さず、大手電機・自動車メーカーの系列会社と直接取引し、それぞれに合う機械をつ

素材の仲介販売でも稼ぐ

IoTをテコに海外市場の開拓を目指す。中国ではすでに納入実績があり、ベトナムやタイ、インドネシアで商機をつかがう。森弘吉社長は「まずは機械を貸与し、遠隔監視サービスを展開したい」と話す。

リサイクル前の製品や分離・破碎を終えた素材の仲介販売も始めた。電線を電線メーカーから買い取り、リサイクル専門会社に売る。リサイクルの過程で取り出されたアルミニウムをエムダイヤが購入し、電線メーカーに販売する流れだ。

現在は月間13トの電線を買取って仲介しており、収入は年間2000万円程度になる見通しという。今後はほかの素材でも同様の取引ができれば検討する。

「モノづくりは大事だが、それだけにとまっいては将来は開けない」。森社長の危機感強い。機械だけでなく、サービスでも独自性を追求していく。

(国司田拓児)